

和歌山県における「定量的な基準」(案)のイメージ

資料7

現状：H29年
病院自主報告

高度急性期と急性期機能病床の分化

埼玉方式

奈良方式

大阪方式

佐賀方式

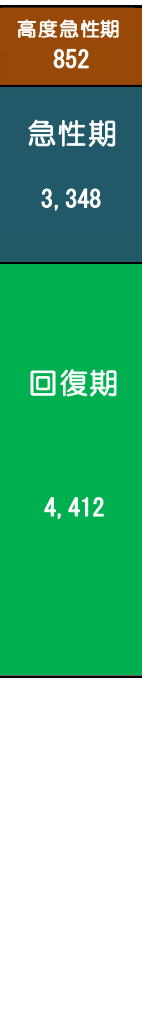
和歌山基準(案)

2025(H37)年



計 12,279 床

病床機能報告：
病棟単位の報告



医療技術評価に
重点を置く方式

急性期と回復期機能を分化



50床あたりの
手術+救急入院
1日2件以上は
重症急性期



50床あたり1日平均
下記①～④いずれか
以上は重症急性期
①手術回数 1以上
②化学療法 1以上
③救急加算 1以上
④呼吸心拍監視 2以上



平均在棟日数
が22日以上は
回復期

和歌山県方式で急性期と回復期機能病床を分化



計 12,279 床

①埼玉方式 +
②救急搬送
年間総件数300件
or 中等症以上100件
(救急)



2025年の
必要病床数
計

9,506 床